

情報セキュリティEXPOご来場者様各位



セキュリティ対策としての
データセンター活用



アウトソーシング事業本部



最近のセキュリティインシデントの傾向より

権限のあるユーザが、正規に情報にアクセスし、不正に漏洩して、重大事故に至るケースが目立ち、看過することはできないと考えます。

権限の強いユーザからの
情報漏洩の可能性は
抱えるべきでない信用リスクです。

データセンターは、その特性を生かして、抜本的な対策を支援できると考えます。



データセンターの主な利用目的

・ 事業継続の為

主に災害を考慮して、自社のビジネスを止めない対策

・ マシン環境の最適化の為

主にオフィスビル環境を考慮して、マシンの為の設備投資を回避する対策

・ 運用 / 業務委託の為

主に人的リソースを考慮して、マシン運用や業務運用の実行体制を自社で持たない対策

1 セキュリティ対策の為

ISMSでいう『機密性』を考慮し、アクセスコントロールを確実にする対策



1 セキュリティ対策の為

ISMSでいう『機密性』を考慮し、アクセスコントロールを確実にする対策

おさらいですが・・・

機密性

アクセス権を持つ者だけが、
情報にアクセスできることを
確実にすること。

機密性
確保の為の
ポイント

機密性を保つ為に対策すべき、
情報へのアクセス経路は物理的に2種類

物理設備経路

ネットワーク経路



1 セキュリティ対策の為

ISMSでいう『機密性』を考慮し、アクセスコントロールを確実にする対策

物理設備経路

「金融機関等コンピュータシステムの安全対策基準」 に準拠した設備の場合

壁や窓に不審者進入防止センサー設備

監視カメラ(24h365d有人監視)

持込物検査

共連れ防止ゲート

24h365d人間による入/退館チェックと巡回

全ての扉に認証装置(カード/指紋)と監視カメラを設置

窓の無いマシン室

マシン室内をセキュリティエリアで区画/扉設置

ラックに施錠し、鍵と鍵使用履歴の管理



1 セキュリティ対策の為

ISMSでいう『機密性』を考慮し、アクセスコントロールを確実にする対策

ネットワーク経路

ネットワーク経路

以下、LAN、WAN、Internetからのアクセスを制御する場合

ファイアーウォールによるサービスPort、IPアドレス制御

ルータ及びL3スイッチによる、ルーティング制御

代理応答サーバ設置による、アクセス限定制御

PKI(認証サーバ)などによる認証制御



1 セキュリティ対策の為


ISMSでいう『機密性』を考慮し、アクセスコントロールを確実にする対策

物理設備経路

ネットワーク経路

上記対策と、「**ユーザ管理**」ができれば
インシデントは防げるか、または減らせるのか

**実際に起こっている、
セキュリティインシデントを見ましよう。**



2009年4月～の情報漏洩事故

ニュース一覧は割愛：SecurityNext社のWebページ等ご参照下さい。

2009/04/08

証券の元従業員が個人情報5万件を名簿業者へ売却
-持ち出しは148万件超

2009/04/17

不正に売却された顧客情報、
-入手業者は50社

この事件は、同社システム部の元部長代理が
個人顧客148万6651人分の情報を不正に持ち出し、
うち4万9159人分を名簿業者3社に売却していたというもの。
名簿業者3社はさらに、この顧客名簿を13社に転売していた。

しかし、その後の調査で、名簿業者3社の転売先が14社だったことが判明。
さらに顧客名簿のサンプルのみを受け取った名簿業者も15社に上ることがわかった。
また、このほかにも50社の名簿業者が顧客名簿を入手した可能性があるとしている。



セキュリティインシデントの傾向と対策

傾向

不正な経路で、
不正なユーザによるインシデントよりも

正規な経路と、
正規なユーザによるインシデントは
影響力が大きく看過されない

対策

情報漏えいの原因が「人」に帰結した対策を

十分なけん制

データの価値と「人」
の接点を回避



対策

十分なけん制

情報へのアクセスに対する、けん制をおこなう
アクセス履歴のトレースを可能にする
定期(不定期)での分析・報告ができるようにする

しかし、
システムのログを収集して分析をおこなうのを
自社で独自に対策するのはお勧めしません。

ログ収集と分析にかかる作業量は小さくない

第三者的な対策にならない

製品のほうがノウハウが蓄積されている



対策

充分なけん制

データセンターの特性として
(運用委託されている場合)

ログの収集/分析ツールの
導入と運用を 最も支援できる立場にあります。

ツールの導入や運用をデータセンターに
支援させれば、第三者性を保て、
機密性も確保できる。
また各対象サーバの運用状況を理解した
導入支援効果は大きいです。

ちなみにソランのデータセンターでは以下の支援が可能です。
支援 導入/運用のサポートが可能で実績があります。
支援 WEEDS製品とリポジトリサーバ(ログ収集・分析サーバ)を
ホスティングにて提供可能です。 専用環境の提供のみ



対策

データの価値と「人」 の接点を回避

データの価値を知っている「人」と、知らない「人」で作業分担することで脅威になる接点を回避する。

データの価値を知っている「人」は物理的 / 電子的にデータの移動をできないようにする。

データの価値を知らない「人」を利用して、作業を補えば業務はできる(以前からそうしていた)。

データセンターはシステムを設置する場所だけでなくもっと活用できます。



データの価値と「人」 の接点を回避

対策

データセンターの特性として
(運用委託されている場合)

データの価値を知っている「人」の
直接のデータの移動を制限する支援を
最もできる立場にあります。

データセンターの運用員のように、
機密性の高い環境にいるが、データの中身を知らず、
どんな価値か判断できない立場の「人」を利用すべき。

セキュリティの重大事故が騒がれる以前から、
バックアップ媒体の運用の委託や、データ媒体の送付と受け取りの委託、
データ伝送業務の委託などで、データセンターは活用されてきていました。



最後に繰り返しますが、

重要データを
最も漏洩させることができるのは、
アクセス権限者です。

データセンターの特性を生かすことで、

お客様と役割分担できれば、
「人」に帰結した重大事故は、むしろ減らせると考えます。

情報にアクセスできる 漏洩させられる
ノットイコールに近づける為に
データセンターの「人」のサービスを活用して下さい。



しかし、、データセンターは

敷居が高い
コストが高い
というお客様へ

キャンペーンを準備しました。
別紙を配布しております。

是非ご検討下さい。

がんばる企業様、応援キャンペーン!!

● 新規・追加専用ハウジングサービス

初期費用 半額!!

月額費用

定価=577,500円(税込)

6ヶ月間 無料!!

定価=167,500円(税込)

1ラックあたり
年間1,233,750円(税込)のコスト削減!!

- 供給装置の総和は、約50架です。
※ ご利用者様の利用形態や、電源提供状況により、供給装置は50架を下回る場合がございます。
- 標準仕様概要 42Uラック・最大積載重量500kg・電源回路2回路
- 機材移設及び、ネットワーク敷設に伴う初期費用は、別途お見積りとなります。
- 電源提供費は、別途月額費用が必要となります。
※ 100V/200V掛組(20A~30A) 42,000円~126,000円(税込)
- 最低契約期間は12ヶ月で、途中解約は不可とさせていただきます。
- 期間限定、2010年3月末導入分までとさせていただきます。

● 共有ハウジングサービス

月額費用 **8,400円(税込) 1U/月**

- 供給装置の総和は、約80Uです。(1U:約4.5センチ)
※ ご利用者様の利用形態や、電源提供状況により、供給装置は80Uを下回る場合がございます。
- 共有ハウジングの仕様は、弊社基準とします。
- 機材移設及び、ネットワーク敷設に伴う初期費用は、別途お見積りとなります。
- 最低契約期間は12ヶ月で、途中解約は不可とさせていただきます。



【お問い合わせ】 「応援キャンペーンを見た」とご連絡ください!

✉: ouen-syc@sorun.co.jp

☎: 03-5427-5570

がんばる企業様、応援キャンペーン!!

- 貴社の大切なデータを、
ソラン横浜センターにてお預かりいたします。

ノンストップ・サービス対応

災害時の商業電力の給電停止や、ビルの法定点検時にも、センターファシリティサービスを止めません。

高い安全対策

「金融機関等コンピュータシステムの安全対策基準」に準拠した設備で、高度なセキュリティ対策を実現します。

- セキュリティ対策
防弾防刃止ゲート、不要者進入防止センサー設備、24時間365日入館による入館・待込チェックと巡回、全ての扉に防犯カメラ(カード/済取)と監視カメラを配置

高い耐災害性能設備

高い耐震性能(980ガル)、ライフラインがストップした場合を想定した耐災害設備で、事業継続を支援します。



- 要員の常駐体制があります。
作業・運用/保守・業務代行からホスティングサービス、BPOサービスまで幅広く対応いたします。

システム基盤運用サービス

日勤時間常駐体制

窓口対応	運用設計支援 (運用フレームワーク構築)	システム基盤 運用保守代行	運用 / 業務 マネジメントサービス
------	-------------------------	------------------	-----------------------

監視/オペレーションサービス

24時間365日常駐体制

システム監視 発報サービス	システムオペレーション 定額作業代行
------------------	-----------------------

システム基盤技術支援サービス

日勤時間常駐体制

システム基盤 設計支援	システム基盤 構築作業代行	システム基盤 保守作業代行
----------------	------------------	------------------



以上、ご清聴ありがとうございました。

貴社のデータセンター活用の
再検討に繋がれば幸いです。